

講座名称: 高冷地応用フィールド演習

担当教員: 岡部 繭子、春日重光、濱野光市

対象学生: 全国の大学生

実施時期: 全3回。本演習は、全ての回に出席することを受講条件とします。

1回目: 平成26年5月17日(土)～5月18日(日)

2回目: 平成26年6月28日(土)～6月29日(日)

3回目: 平成26年9月17日(水)～9月19日(金)

集合時刻: 各回とも初日の10時(農学部)、または12時(野辺山ステーション)

集合場所: 信州大学農学部(※公共交通機関を利用し、実施場所の野辺山ステーションへの直接集合も可)

住所: 長野県上伊那郡南箕輪村8304

アクセス: 高速バス中央道伊那インター、または伊那インター前下車 徒歩約15分

実施場所: 信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター 野辺山ステーション

住所: 長野県南佐久郡南牧村大字野辺山字ニツ山462-1

TEL: 0267-98-2638(岡部 繭子)

地 図:



演習内容・計画

信州大学農学部には八ヶ岳東山麓の野辺山高原(標高1351m)に附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC)野辺山ステーションがあります。周辺一帯は、高原野菜の栽培と酪農が盛んな地域で、こうした環境のなかで環境保全型農業に関わる教育、研究を推進しています。

演習では、教員および技術職員の指導により、自炊設備を備えた宿泊施設(収容50名)と高冷地フィールド施設を活用して野辺山ステーションの生産圃場においてキャベツを教材として、圃場の準備、播種、定植から収穫、出荷までの一連の作業を通じて生産技術の習得を目的に、複数回の宿泊実習形式で行います。また、講義や近隣施設の見学を適時行いながら、連作障害への対応、6次産業化をめざした安定生産技術を習得し、高原野菜の生産や流通システムについて理解を深めます。

本年度の計画は以下の通りです。また、夕食後は高冷地農業および自然環境全般について研究および体験発表等を行います。なお、天候および野菜の生育状況、受講学生の専攻等により計画を一部変更することもあります。

1回目: 圃場整備、キャベツ播種、高冷地農業についての講義

2回目: キャベツの定植、除草

3回目: キャベツの収穫、出荷、集荷場見学、圃場片付け、キャベツの食味比較等

参加費用:

全授業期間の費用: 4～5千円(食費、傷害保険代(全員加入)含)を現地で徴収します。

集合場所までの旅費は自己負担です。

提出書類:

- ① 講座申込書(信州大学様式)
- ② 健康診断証明書
- ③ 学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

申込締切:

平成26年4月18日(金)信州大学農学部必着

受講許可:

書類の提出後、受講の可否について本人に通知します。

受講証明:

本演習は信州大学で2単位の演習として開講している科目と同一の内容です。

修了学生には「修了証明書」を発行します。

キャンセルポリシー:

開催1週間前以降のキャンセルについては宿泊費を、1日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額を支払っていただきます。

その他特記事項:

◎集合について

野辺山ステーションに直接集合する場合は、公共交通機関を利用し、事前に下記問合先まで連絡すること。

◎持参物

初日の昼食、医療保険証、作業着、日焼け防止用帽子、手袋、長靴、日焼け止め、筆記用具、宿泊に必要な身の回り品(シャンプー等洗面具、タオル、着替えを含む)等

◎欠席について

欠席する場合は、1週間前までに信州大学農学部学務グループまで申し出てください。

直前にやむなく欠席・遅刻する場合は、各回演習の前日までは信州大学農学部学務グループに、当日は野辺山ステーション(0267-98-2638または090-8723-1740)に必ず連絡してください。

申込・問合先:

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学農学部学務グループ

Tel:0265-77-1309 Fax:0265-77-1313 Email:agakumu@shinshu-u.ac.jp